

委員長 西 薫 隆博 副委員長 来海 恵子
 委員 濱口 正暁 委員 濱元幸一郎
 委員 大住 清昭 委員 青山 隆幸

健康福祉常任委員会 予算決算常任委員会健康福祉分科会

【常任委員会】
 平成29年度合志市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 合志市の非常勤専門職の賃金は安いと、募集しても人が来ないのではないか。必要な人員には賃金を上げる必要があると思うが、どのように考えるか。
 答 近隣の状況を確認し、格差があれば人事部門とも協議していききたい。

平成28年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

【反対討論】 法定外繰り入れを行い、積み立てられた4億1千万円の基金を活用し、保険税の引き下げを進めていくべきだと考えるため反対である。
 【賛成討論】 国保財政が厳しい時に使う基金だと思っているので賛成である。

平成28年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算

【反対討論】 国庫負担の割合を増やして安心して介護が受けられるような制度設計を進めていくべきだと思つて反対である。
 【賛成討論】 保険料は、所得に応じて11段階に分かれており、低所得者の方への軽減もある。また、本市は要支援の方にも独自の施策

もしつかりとやってきているので賛成である。

平成28年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

問 後期高齢者医療の資格証明書の発行件数はどれくらいか。
 答 熊本県内では資格証明書は発行していない。短期保険証を20人程度発行している。

平成29年度合志市一般会計補正予算(子育て支援課)

問 西合志東小第5・第6学童クラブ室整備に伴い、子ども達への安全性の確保は。
 答 子ども達の安心安全を確保するため、関係する機関と協議を行



西合志東小第5・第6学童クラブ建設予定地

い、学校敷地と一体となるよう道路の付け替えを行うなど、安全性に配慮した建築・運営を行う。(高齢者支援課)

問 みどり館の太陽光設備の修繕が必要とのことだが、月にどれくらいの発電があり投資額はどれくらいで回収できるのか。
 答 月額で3万円程度の発電料なので、年間約30万円程度とすると、6〜7年で投資額は回収できると見込んでいる。

平成28年度合志市一般会計歳入歳出決算(福祉課関係)

問 稼働年齢層や若い世代の生活保護受給世帯が増加傾向であるが、保護費を受給せざるを得ない理由は。
 答 一番若い世帯で保護を受けている世帯は18歳の単身世帯である。稼働年齢層が生活保護費を受給せざるを得ない理由としては傷病等により働くことができない、また解雇された等の理由で保護申請に至るケースが多く見受けられる。(女性・子ども支援室関係)

問 女性の再就職・復職を後押しする支援として、自立支援プログラムを開催し、6人が受講された成果があがっているが、実際何

の方が就労につながったのか。
 答 6人中5人の方が就労につながった。(子育て支援課)

問 就学前の待機児童解消のための今後の対応は。
 答 本年度は、新築移転に伴う30人の定員増で1園整備中である。引き続き、認可保育園連盟に老朽化の建て替えに伴う定員増や第2園の建築を打診している。また、企業主導型保育事業に着手したいとの相談もあり、地域枠も設けられるようであれば、待機児童の解消につながるかと考えている。(高齢者支援課)

平成28年度合志市一般会計歳入歳出決算(福祉課関係)

問 後期高齢者の健診受診率はどのくらいなのか。
 答 平成28年度の受診者は健康診査が955人、人間ドックは102人で対象者が5,860人のため、全体の18%になる。



スリースマイル秋桜 (榎ノ本)

【審議日程】

●平成29年8月31日(木) 予算決算常任委員会(全体会) 質疑及び分科会(総務分科会、文教経済分科会、健康福祉分科会)を設置し付託事件の審査を行うこととした。

●平成29年9月1日(金) から9月6日(水) 予算決算常任委員会(各分科会) 3分科会による審査を行った。

●平成29年9月11日(月) 予算決算常任委員会(全体会) 分科会長報告、自由討議により分科会長報告に対する質疑及び総括質疑事項の選定を行った。

●平成29年9月14日(木) 予算決算常任委員会(全体会) 総括質疑・討論・表決 ※なお今委員会においては、初めて行政評価システムを対象に決算審議し、具体的な事務事業について総括質疑を行った。

【総括質疑】

実質収支(不用額)の取り扱いは。
 問 ①不用額増加の要因分析及び予算の適正執行の認識

②低執行率事業の決算時における議会への説明に係る、一律基準の必要性の認識

③実質収支額繰り入れにおける、基金の特定目的化の有効性及び健全性の有無の認識

問 不用額の割合が上昇した要因については、福祉分野の保育事業等の通常事業の他、熊本地震による給付・補助事業が増加しており、いずれも特有な事情で減額判断が困難であったと分析しているが、それ以外のものについては、予算計上・執行の適正を求めていきたい。また、議会審査に際しては、執行率に基準を設け、一律説明を行えるようにしていきたい。実質収支額のうち規定による基金への繰入に関しては、公共施設総合管理計画をもとに各施設への充当が必要のため、目的基金(公共施設整備基金等)への積立も有効だと認識しているのを検討したい。

市バスの維持管理事業について

問 ①当該事業の28年度実績、近年傾向及び行政評価において、低貢献度に留まる要因の認識

②前述の①及びバスの更新等の要素も踏まえ、本事業の検証・総括並びに見直しの必要性の認識の有無

答 市バスの維持管理事業について、貢献度評価が28年度低かった要因は、熊本地震の影響によるものだと考えるが、近年傾向として

生涯学習講座開催事業について

問 ①貢献度評価において成果実績の低下要因及び近年傾向の認識

②熊本地震からの施設復旧に際し、他所管の類似事業との合理化の有効性及び必要性の有無の認識

答 本事業の成果実績低下の要因は、熊本地震発災により、28年度後期のみ開催となったことによるが、それ以前の傾向としては、利用は増えている状況である。今後は、他部署所管の講座の中で「対象」「意図」など生涯学習講座開催の目的と合致する講座があれば、統合によるスケールメリットが有効な場合、類似する事業の合理化も必要と考える。

養生園施設整備負担金事業について

問 ①行政評価において低貢献度に留まる要因及び近年傾向の認識

②28年度の養生園利用実績(合志市)と近年傾向の認識

③今後の利用促進に向けた対応策の有無の認識

④負担金割合の傾向予測及び算出基準の妥当性の認識

答 養生園の28年度利用実績は、外来受診で述べ4920人、うち合志市民は194人、特定健診等、一般診療以外の総数は2万8596人で、うち合志市民は7362人となっている。近年傾向としては、外来・健診受診共に受診者総数は伸びているが、合志市民の受診者数は横ばいの状況である。

利用促進策として、健診未受診者対策等を検討するプロジェクトチームを立ち上げたことに加え、病院受診が必要と診断された方へ組合との連携による訪問指導を行い外来受診の増加につなげたい。

また、負担金割合については、現在「菊池養生園保健組合規約」に基づき平均割25%、人口割75%の算出基準で菊池市と分担している。今後の予測として、菊池市の人口減、合志市の人口増により本市の負担割合は一層増加することが予測されるが、現時点では、構成市の合意の下、「菊池養生園保健組合規約」に基づく支出について算出基準は妥当であると考えている。